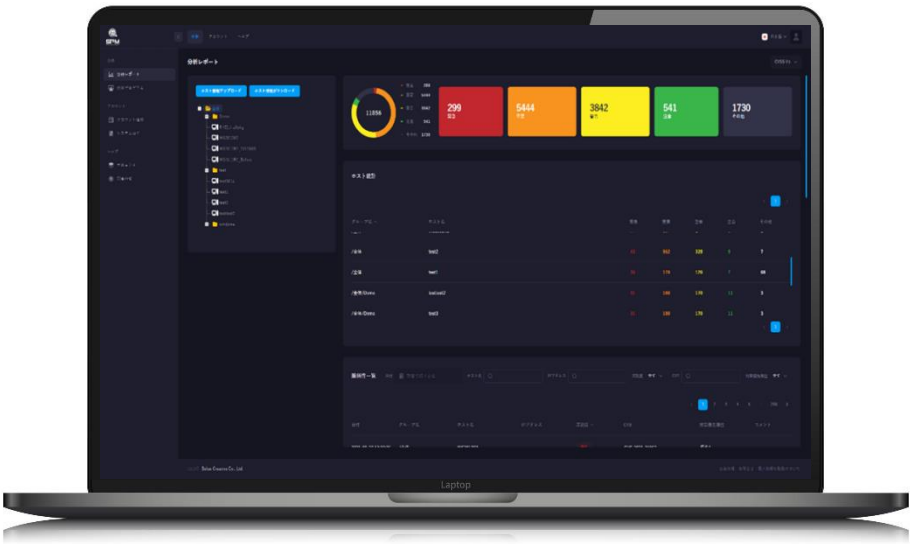
2023 年 12 月 1 日
株式会社 ベルウクリエイティブ

第 17 回「ASPIC クラウドアワード 2023」
～「支援業務系 ASP・SaaS 部門」において『奨励賞』を受賞～

株式会社ベルウクリエイティブ（代表取締役社長：大和田　利郎）が提供する「SPM (Secure Package Management)」が支援業務系 ASP・SaaS 部門において奨励賞を受賞したことを発表します。



ASPIC クラウドアワードは日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービスに対し、総務大臣賞（予定）、アワード総合グランプリ、各部門総合グランプリ、他各賞を表彰する取り組みです。
クラウド事業者及びユーザ企業の事業拡大を支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展・確立することの一助になることを目的としています。

【受賞サービスについて】

SPM は、独自の脆弱性データベースと分析エンジンを有した脆弱性診断ツールであり、各種サーバ OS にインストールされているソフトウェア(パッケージ)の脆弱性を高速・高精度かつ簡単に分析することができます。
従来の工場、ビル、病院、制御システムなどのクローズなネットワーク環境においても IoT の進展などでサイバー攻撃の脅威に晒されています。また、「ひとり情シス」による企業はシステム担当者の業務過多により、セキュリティ対策・運用にまで手が回らないという課題があります。
SPM を利用するにあたり、システム構築の導入コストはほとんど発生しません。また、専門知識も不要です。そのため、企業におけるサイバーセキュリティ対策・運用の負担を大幅に削減することができます。
＊クローズなネットワーク環境：インターネットに接続されていない環境

【SPM の特徴】

SPM は脆弱性分析までの手軽さとミッションクリティカルなサーバに対しても高精度・安全に利用できることが大きな特徴です。

- ●SPM を利用するにあたり、専用ツールのインストールや設定変更等、環境構築作業が不要です
- ●サーバに対し高負荷・大量のトラフィックは発生しません（本番環境にも利用可能）
- ●従来の脆弱性診断では検出が難しかったサーバ内部の脆弱性を検出します

※PCI DSSv4.0 認証スキャン(クレデンシャルスキャン)に完全対応

<脆弱性分析の流れ>
わずか 3 ステップで脆弱性を把握できます。

【コストの削減効果】

SPM は従来の脆弱性診断で発生していた手間を**約 60%削減することができます。**

一般的なサイバーセキュリティ対策は、社内ポリシー策定や社員教育等に組織面の対策と FW・WAF 等の導入や脆弱性診断等の技術面の対策に分類されます。

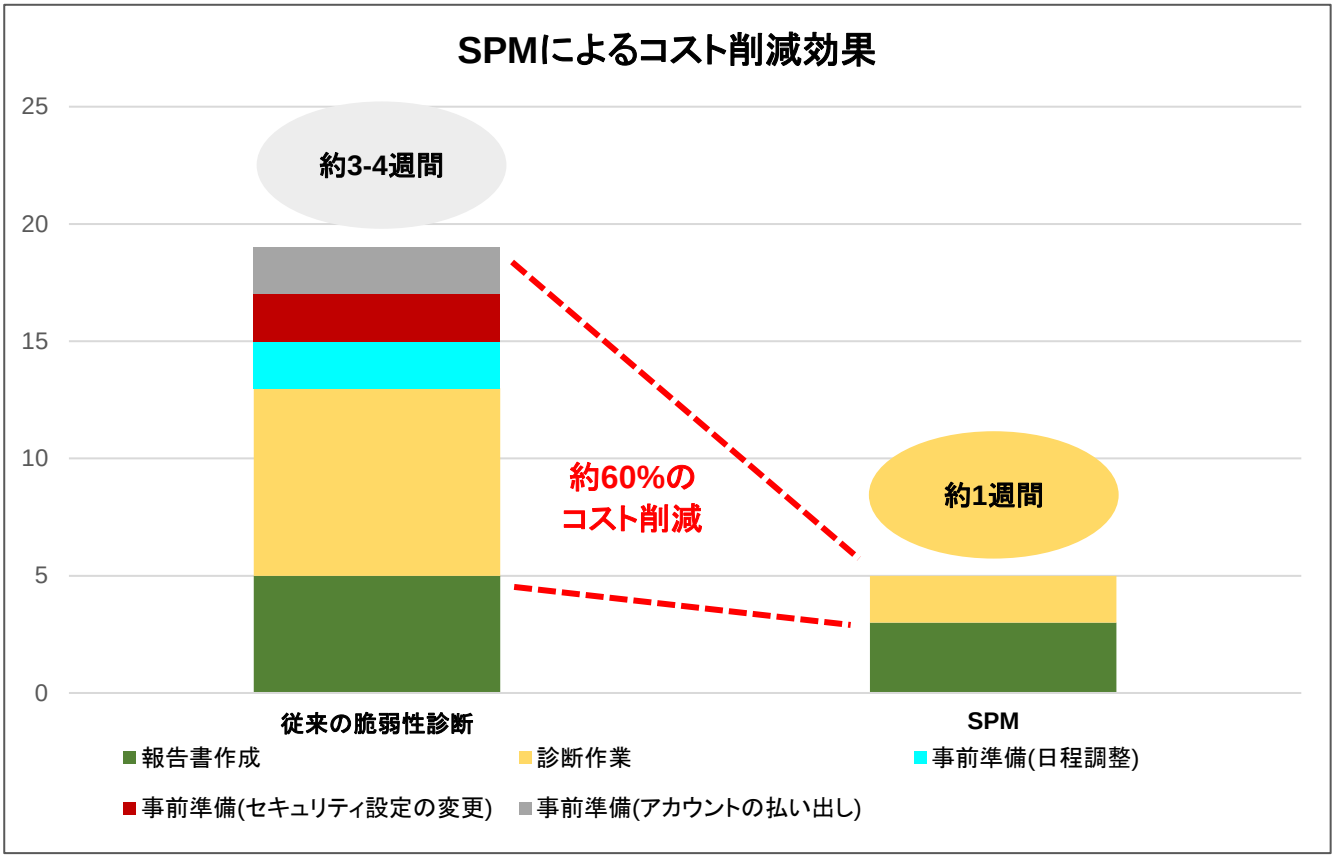
SPM は技術面のセキュリティ対策として、既知の脆弱性対策に特化した診断ツールです。

サイバーセキュリティ対策	概要
組織面	社員教育 社内ポリシーの作成 等
技術面	NW の分離 FW/VPN 機器の導入やチューニング 等 既知の脆弱性対応 ・脆弱性診断の実施 ・セキュリティパッチの管理 **SPM**

SPM は従来の脆弱性診断で発生していた下記の手間が発生しません。

- ●診断用ステージング環境の構築
- ●FW/VPN 機器の設定変更やアカウントの払い出し
- ●診断用のテストデータの準備(テスト用クレジットカード情報・商品データ等)
- ●オンサイト作業による入館申請や PC 持ち込み申請

以下参考図



SPM		お客様作業 診断の流れ	従来の脆弱性診断	
工数	お客様側で発生する作業		お客様側で発生する作業	工数
約 60%削減		事前準備	・日程調整 ・セキュリティ設定の変更 ・アカウント情報の開示	4-6 日
1-2 日	・検査プログラム実行 ・結果のアップロード	脆弱性診断作業	・現地立ち合い ・連絡対応	3-8 日
1-3 日	・報告書の確認	報告書作成	・セキュリティ設定の変更 ・テスト用データ削除 ・報告書の確認	5 日

【脆弱性の管理・対策をサポートする機能】

SPM は専用のポータルサイトから脆弱性スキャンの実行、詳細結果の確認をすることができます。
また、ポータルサイトでは、ご担当者様(サーバ管理者等)の運用をサポートする複数の機能をご提供しています。

まとめてスキャン

サーバをグループ化し
まとめて脆弱性の分析が可能

脆弱性のサマリ・詳細

検出された脆弱性のリスクと件数、
詳細情報を表示します

アラート・通知

定期的にサーバをスキャン
検出された脆弱性を通知

レポート

ポータルサイトもしくはエクセル
版レポートから脆弱性を確認す
ることが可能

【SPM 対応 OS】

SPM における対応 OS は下表の通りです。

※2023 年 11 月時点での対応状況です(下記以外の OS 対応については別途ご連絡ください)。

SPM 対応 OS	
Windows Server 2012 R2 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022	Server Core/Windows Server Azure Edition を除く
Red Hat Enterprise Linux 6/7/8※1 CentOS 6/7※1 Amazon Linux※1 Amazon Linux2※1 Ubuntu 18.04/20.04/22.04(LTS) ※2	※1 標準カーネル以外のカーネル(例：kernel-*.el7.elrepo.x86_64 等)を除く ※2 CPU アーキテクチャが x86_64 以外のものを除く

<SPM サービス紹介ページ>

https://solution.belue-c.jp/

<弊社サービスやその他ご相談に関する問い合わせ>

https://belue-c.jp/contact/